

## 平成 31 年・令和元年（2019 年）の渡島大島の火山活動

札幌管区気象台  
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しました。

### ○噴火警報・予報の状況、2019年の発表履歴

2019 年中変更なし

噴火予報（活火山であることに留意）

### ○2019年の活動概況

#### ・火口や噴気の状況（図 1～3）

9 月 17 日に実施した上空からの観測（国土交通省北海道開発局の協力による）では、噴気は認められず、その他にもこれまでと比較して火山活動の活発化を示唆するような変化は認められませんでした。



図 1 渡島大島 赤外熱映像及び写真の撮影方向



図 2 渡島大島 寛保岳周辺の状況  
北西側上空(図 1 - ①)から撮影

この火山活動解説資料は札幌管区気象台のホームページ(<https://www.jma-net.go.jp/sapporo/>)や気象庁のホームページ([https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly\\_v-act\\_doc/monthly\\_vact.php](https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php))でも閲覧することができます。

本資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。  
<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『電子地形図（タイル）』を複製しています（承認番号 平 29 情復、第 958 号）。

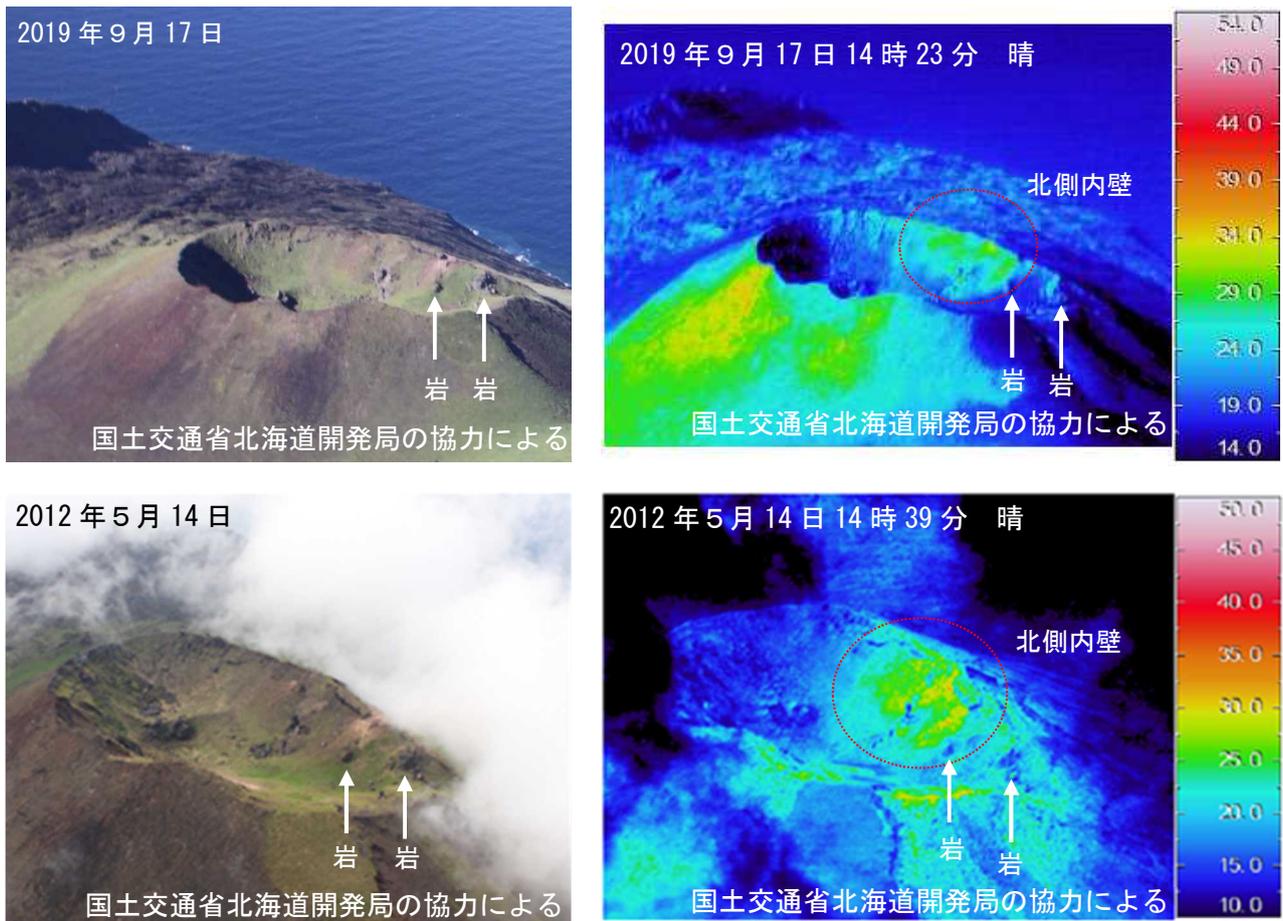


図 3 渡島大島 赤外熱映像装置による寛保岳山頂火口の地表面温度分布  
南東側上空(図 1 - ②)から撮影

- ・前回(2012年)確認されていた山頂火口の北側内壁の地熱域は、今回の観測では日射による地表面温度の上昇と区別することができませんでした。少なくとも、日射による温度上昇を上回るほど地表面温度が上昇している領域はないと判断できます。